

平成26年産(25年播種) 麦類生育概況

長野県農業試験場 作物部

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:シラネコムギ		
		平年	平成25(播) ~26年(産)	平年比	平年	平成25(播) ~26年(産)	平年比
出芽期 (12月2日)	出芽数 本/m ²	167	153	92	154	150	97
越冬前 (12月16日)	草丈 cm	10.7	9.8	92	15.0	12.7	85
	茎数 本/m ²	465	305	66	506	395	78
	葉数	4.2	3.4	-0.8	4.3	3.5	-0.8
越冬後 (3月6日)	草丈 cm	11.3	8.3	73	14.8	10.3	70
	茎数 本/m ²	861	540	63	977	680	70
	葉数	5.8	4.7	-1.1	6.5	5.1	-1.4
(3月19日)	草丈 cm	12.9	9.5	74	16.0	11.0	69
	茎数 本/m ²	1090	967	89	1237	1073	87
	葉数	7.4	5.5	-1.9	7.5	5.6	-1.9
幼穂形成期		3月2日	3月20日	+20	3月20日	3月24日	+4
茎立期		3月24日	4月1日	+8	4月2日	3月28日	-5
出穂期		5月5日	5月6日	+1	5月11日	5月12日	+1
成熟期		6月12日	6月10日	-2	6月25日	6月21日	-4
成熟期	稈長 cm	95	82	86	88	75	85
	穂長 cm	5.0	5.2	104	8.4	8.0	95
	穂数 本/m ²	511	340	67	568	430	76
収量	子実重 kg/a	73.4	62.5	85	72.9	60.6	83
	容積重 g/l	724	718	99	814	811	100
	千粒重 g	39.1	40.2	103	40.3	40.2	100

※平年値は過去8年における最大値と最小値と異常高温年の平成18年を除いた5カ年の平均値

<耕種概要>

栽培様式: 30cm条間ドリル播

播種期: 大麦 平成25年10月29日、小麦10月29日 播種量: 7kg/10a

施肥量(N): 基肥 6kg/10a

<生育概況>

越冬前

播種後11月は中旬以降気温は低温~平年並で推移した。越冬前の生育は平年に比較して大麦、小麦とも草丈が短く、茎数は少ない。葉数は平年に比較して1葉近く少ない。

越冬後

12月から1月まで平年に比較して低温傾向であったが降雪は少なかった。2月8日以降かなりの降雪があり、消雪が3月1日となったが、根雪期間となる長期積雪はなかった。生育は平年に比較して草丈、茎数とも6~7割程度、葉数も1葉以上少なく、生育は遅れている。

(3月6日現在)

(3月19日現在) 3月も低温傾向が続き、大麦、小麦とも茎数は増加したが、平年に比較して草丈はかなり低く、葉数は2葉ほど少ない状態である。

幼穂形成

~茎立期

3月下旬になり気温が平年並から高い状態となった。大麦の幼穂形成期は平年より20日遅く、茎立期は8日遅くなった。小麦の幼穂形成期は4日遅く、茎立期は5日早くなった。大小麦とも生育が回復傾向にある。

出穂期

4月は気温が平年並~やや高く、5月上旬はやや低めで推移し、出穂期は大小麦ともほぼ平年並となった。

成熟期

越冬後までの生育遅れの影響で平年より稈長は10cm以上短く、穂数は7割程度である。5月下旬から6月上旬にかけての高温で登熟が進み、成熟期は平年より大麦で2日、小麦で4日早くなった。

収量

大小麦とも平年より15%程度の減収となった。茎数不足のまま幼穂形成期、茎立期を迎え、穂数が平年よりかなり少なかった影響と考えられる。容積重、千粒重はほぼ平年並となった。